

中田かわら版 10月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

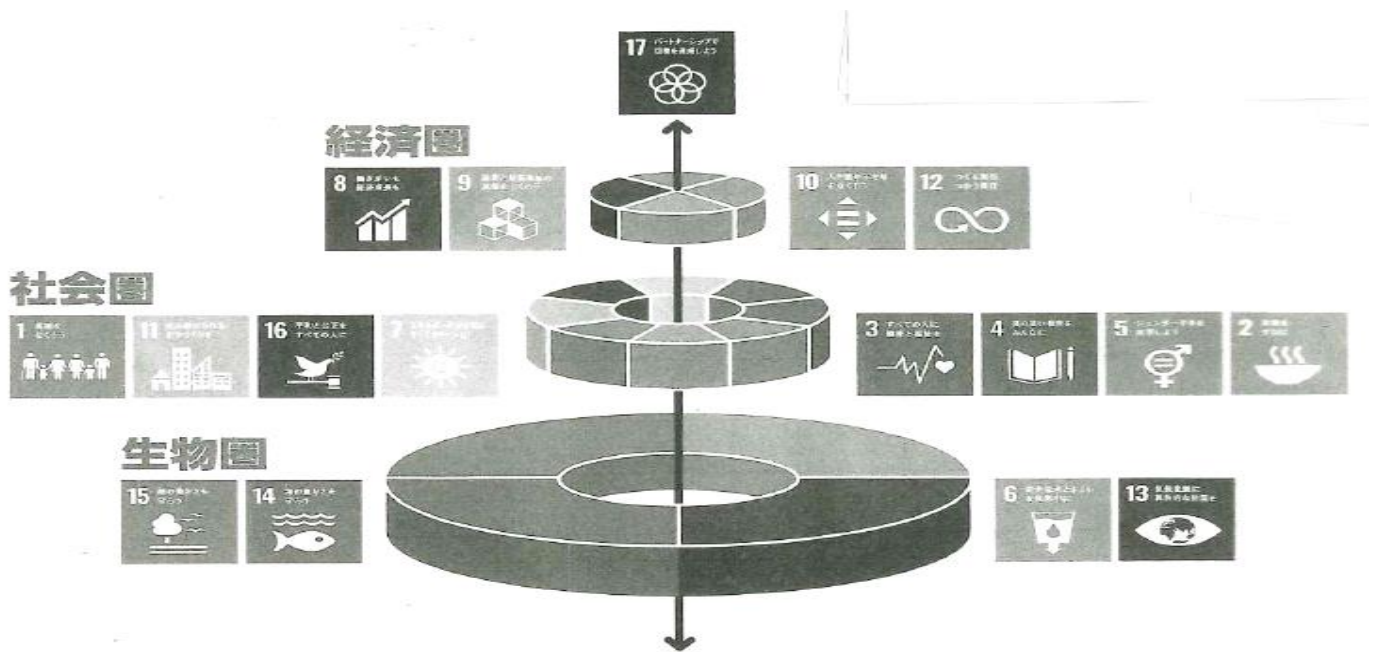
制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

SDGSとは SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■シリーズ「地球温暖化問題」 < 5 >

「SDGs ウェディングケーキ」について



出典/URL: <https://onl.tw/HReeWfT>
Credit: Azote for Stockholm Resilience Centre, Stockholm University (CC BY 4.0)

「持続可能な開発目標」(SDGs)が2015年9月25日、ニューヨークの国連本部で採択されました。「世界中で起きている環境問題、差別、貧困などの課題を世界中のみんなで2030年までに解決していこう」という目標です。そこには17のゴールと、達成に向けた具体的な行動内容や行動になるヒントとなる169のターゲットが記述されています。

今回紹介するのが「SDGs ウェディングケーキ」と呼ばれるもので17項目を大きく3つに分け(上から経済圏・社会圏・生物圏)、分かりやすく表現した構造モデルです。スウェーデンの研究者が「SDGs の概念」として提唱したものです。図のように頂点にグローバル・パートナーシップを乗せ、その下に「経済圏」があり、経済の発展には「社会圏」の平和、健康、教育、飢餓のゼロなどが不可欠であり、また「社会圏」を支えている土台は「生物圏」の陸や海の豊富な資源、衛生的な水、気候変動に対する対策などが必要であることを示しています。このように3つの部門が、お互い密接に関連し出来ているのがよく分かります。なお図の見かたとして「生物圏」での食料は生きていくうえで一番の基本。そこで下から上に向かって読むと人間社会の実像が分かると思います。

(宮田貞夫)

～一人ひとりがCO2を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう!～

「村岡川 12 橋」の由来などについて知りたい・・・ 質問者：森口重瑠さん

御霊神社を源にして中田を縦断する村岡川。JA横浜みなみ総合センターの中下橋と汲沢中学校方面にある中田橋の間に「12 橋」がある。距離にして約 850 メートル。陰暦名で睦月(1月)から最後の霜月(11月)まで。師走(12月)がないのは睦月から7番目に「かばた橋」(写真右上)が入っているからだ。ではなぜ「かばた」(=かばた遺跡)なのか。ひらがな表記が一般的だが漢字はないのか。

7月21日、泉区土木事務所を訪ねて分かったのは以下の2点。陰暦名については昭和50年前半のころ、土木事務所の当時の職員が名付けたらしい。地元の人に愛されるように陰暦名にしたとのこと。「かばた橋」についてはこの地域の戸塚苑付近にあったとされる「かばた遺跡」の「かばた」から付けられた。昔はこのあたりの字名が「ひらがな(ひらがな表記)」だったから。以上であった。



公式な文書である『皇国地誌』(明治2年)の小字に「河端」という地名が記されている。「かわばた」が訛って「かばた」になったと考えられる。その他の資料でも「河端」が散見できるので間違いない。「かばた遺跡」だが、今から4~5000年の縄文中期の阿玉台系(千葉県・阿玉台)遺跡が、この辺り(河端)から出土したことによる。12橋にこの橋だけが特別に残されたのも歴史的遺産を永遠に残すためだったのだろう。なお橋の高欄の左に平成8年9月竣工、右に陰暦月名が書かれている。(宮田貞夫)



写真(上)「かばた橋」

(中)「かばた橋」(下)村岡川

参考資料；「皇国地誌」「郷土いずみ」「歴史の香り」(小山俊一著)
詩「中田史蹟めぐり」(小島貞雄)、「いずみ いまむかし」

<訂正とお詫び> 9月号4面の中央公園は正しくは丸の内公園でした。

編集後記

家人がコロナに感染し苦しみを受けた人。故郷に帰省しようとする「時期が悪い帰ってくるな」と拒まれ、歯科診療所からマスクをせずに待合室に戻ると、憎しみの目に迎えられる。清謐の時は何時になるのやら。寛ぎ一杯の日々を嬉しく迎える日は近い。頑張ろう。(Y)

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本 正

編集委員；山木重樹、小島敏子、田中 進、河内満明、松本純子、佐々木弘美、嶋 宏之